

備前市 事務事業 評価表

事業の概要		コード	02-01-04-08
事務事業名	寺山地区高齢者通院費事業		
事業開始年度	平成16年度		
大項目 基本目標	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合せ先	担当課(室) 日生総合支所 市民窓口課
中項目 基本施策	やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	副参事 藤原弘章
小項目 施策	高齢者福祉	電話	72-1104

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	日生町寺山地区に居住する満70歳以上又は身体障害者1、2級、療育手帳A、精神障害者1～3級の手帳の交付を受けている方
目的 (何のために)	公共交通手段の無い寺山地区(人口11人)の高齢者等が医療機関への通院を援助する
行政活動 (どのような方法で)	対象者の方が治療を受ける目的でタクシー等を利用する場合に、その通院交通費の一部(1ヶ月4往復で5000円以内)を助成する
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	寺山地区の事業対象者が、安心して医療機関への通院ができるようになる

事業の実績					
活動実績	実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	申請者数	人	3	2	3
	直接事業費	千円	80	69	87
	人件費	千円	352	475	93
	事業費計	千円	432	544	180
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	市一般財源	千円	432	544	180
	必要人員	人	0.04	0.05	0.01
	結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
申請者数	説明				
結果指標	結果指標量	3	2	3	
	対前年比	-	66.7%	150.0%	
	活動コスト	432,000	544,000	180,000	
	単位当たりコスト	144,000	272,000	60,000	
結果指標	結果指標量				
	対前年比	-			
	活動コスト				
	単位当たりコスト				

事業の成果			
成果指標名	寺山地区の人口	式又は説明	限界集落の当該地区に他地区にない施策を設定しているところから、人口の増減に注目する
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	10	8	11
対前年比		80.00%	137.50%
到達目標値	現状維持	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)		
妥当性の評価	目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	妥当性評価 <A-E> C 課題認識	
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	寺山地区は過疎地で遠隔地であるがため、公共交通機関や自家用車等のない高齢者にとっては有効な事業である	
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
	事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		効率性評価 <A-E> C 課題認識
	手続	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		事業対象者は過疎化や超高齢化により年々減少傾向にある
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		有効性評価 <A-E> D 課題認識
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	この事業によってこの地区の人口が劇的に回復することはないが、生まれたちで安心した老後を送るための一助とはなっているものとする		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明 寺山地区は人口が11人であり、コミュニティとしての維持は困難となっており、今後漸次対象者も減少していくものと思われる
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 3	結果指標量 11
	成果指標量	

総合評価		この事業の対象地区人口は11人で70歳以上がほとんどという、超高齢化地区であることから、不便な当該地区でのこの事業継続はやむを得ないものとする	評価区分 <A-E> C	

平成21年度以降の方向性		平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	助成必要者の把握	平成20年度	今後の事業の必要性を判断する